

令和3年5月発行

東灘区サポセン通信 第3号



発行 東灘区医療介護サポートセンター

住所：〒658-0054 神戸市東灘区御影中町 4 丁目 1-8 東灘区医師会館内 3 階

TEL: 078-822-0171 FAX: 078-822-0172 担当： 長友、飯野

緊急事態宣言の中、挨拶のように本日のコロナ感染者数などが話される毎日で、気が滅入ってしまいます。自分の身体だけでなく精神面にも注意が必要ですね。第3号は歯科医師会と歯科衛生士会の活動報告、サポートセンター開催の研修会報告、新型コロナ情報などを載せています。他にも頑張っておられる方々がいることを知り、仕事の糧としていただければと思います。

令和3年度東灘区医療介護サポートセンターの目標と研修会予定

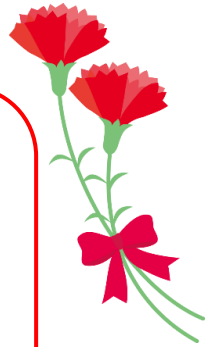
どの様な状況でも多職種のつながりを止めない！

<今年度の研修会テーマ>

患者（利用者）の意思決定を支援するための多職種の連携、役割について考える

<今年度研修会予定> 案内は、ホームページでご確認ください

1. 入退院支援を相手の立場に立って考える研修会
2. ACP を学ぶ研修会
3. 多職種カフェ（コロナ禍での経験を話し合い、多職種連携について考えましょう）
4. 地域の各科の訪問診療の取り組みを学び、在宅医療の連携の在り方を考える研修会
5. 基幹病院と灘区・東灘区地域医療連携室と在宅との交流会
6. 事例検討会



各団体活動報告



『東灘区歯科医師会の活動報告について』

東灘区歯科医師会地域医療理事 登利佳央

地域包括ケアにおいて東灘区歯科医師会では、

- ①医師会、薬剤師会との三師会への参画
 - ②区役所との連携協議会
 - ③東灘区在宅NST推進研究会への参画
 - ④ひとりぐらしふれあい会での歯科講演
 - ⑤介護職に対する口腔ケア研修会
 - ⑥訪問歯科診療、訪問口腔ケア
- などの取り組みを行っています。



<でん太くん>

訪問口腔ケアに関しては、兵庫県衛生士会と連携して在宅での口腔ケア

事業を推進しております。令和2年からは、兵庫県栄養士会神戸部会との連携協議会を立ち上げ「口腔機能管理」と「低栄養の予防」の両輪で、東灘区民のフレイル予防を目的とした活動を考えおります。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、大人数での協議会やイベントの開催が難しい時期ではありますが、医療・介護職の方々との難局を乗り越えて、更なる連携ができればと思います。

何か、些細なことでも、歯科医師会がご協力できることがございましたらご相談ください。

★訪問歯科診療の相談先は、東灘区歯科医師会ホームページから「東灘区訪問歯科診療」をクリックしていただくと、申し込み方法がわかりますので、ご活用ください。

ねたきりで等で、歯科医院に行けない方へ
歯科医師が往診します

訪問歯科診療制度をご利用ください

●歯が痛い
●歯ぐきや歯肉が腫れた
●入れ歯が痛い、壊れた
●口腔ケアをしたい

ご自宅に歯科医師が伺います！

対象者 原則としてねたきり等で、歯科医院への通院ができないご高齢の方
費用 保険診療の自己負担額をお支払いただけます。
申し込み方法 「東灘区歯科医師会特別歯科往診申込書」に必要事項を記入の上、下記の番号にFAX送信してください。申込書は、東灘区歯科医師会ホームページからダウンロードして使用できます。
問い合わせ先 東灘区歯科医師会・訪問診療窓口 TEL: 番号: (078) 841-3789 FAX: 番号: (078) 841-3783

●治療内容としては
①むし歯の治療（充填する、神経の治療）
②入れ歯の修理、調整、さらに新たに作製することもできます。
③歯周病の予防と治療（歯石除去など）
④歯槽膿漏や歯肉の腫れの処置
※口腔ケア
訪問歯科診療材料を豊富に取り揃えており、歯を削ったり、レントゲン撮影もできます。

●訪問歯科診療の流れ
依頼受付 → 歯科医師派遣 → 往診実施 → 診療終了 → 歯科医師帰館

東灘区歯科医師会

『地域包括ケアでの歯科衛生士の役割』

兵庫県歯科衛生士会 神戸支部 東灘区担当 池崎 雅代

公益社団法人兵庫県歯科衛生士会では、各地域において歯科保健活動や啓発活動に取り組み、各ライフステージにおける歯と口腔の健康作りに関する様々な活動を実践しています。また、『オーラルフレイル』という加齢による口腔の虚弱な状態が継続することで、要介護や寝たきりのリスクを増大させてしまうと言われており、地域の高齢者の方への予防啓発や、介護現場においての口腔ケア等、口腔健康管理に努めております。

東灘区での活動の一つである、NST 推進研究会では『食』をテーマに各専門職が関わり活気に満ちた意見が交わされています。「美味しく安全に食べたい。食べて欲しい」…誰もが共通して思う事。しかしながら、口腔のトラブルにより食事が上手くいかない事も少なくありません。周りがささいなお口の変化（食べこぼす、わずかなむせ、噛めない食品の増加、滑舌の低下、口腔の汚れ、口臭、乾燥など）に気づき、歯科医と連携を図ることで口腔の機能低下を予防できます。食支援の観点からも、歯科専門職が多職種と連携し、口腔機能管理を担う役割は大きいと考えます。歯科衛生士は、継続的な口腔ケアを提供し、安全に口から食べることをサポートします。

訪問口腔ケアをご希望の方は、①かかりつけの歯科医に訪問口腔ケアの依頼や相談。②神戸市歯科医師会では通院困難な方を対象に、兵庫県歯科衛生士会の登録歯科衛生士が訪問口腔ケア行う事業を行っております。

神戸市歯科医師会では、在宅において寝たきり状態で歯科医院に通院困難な方を対象に、歯科衛生士が訪問して継続的な口腔ケア、口腔機能管理を行う事業を開始いたしました。

歯医者の申込用紙に必要事項を記入し、親で申し込んでください。

担当歯科医と歯科衛生士が訪問して見えます。

訪問計画に基づき継続的な歯科衛生士による訪問口腔ケアを行います。

※ 対象となるのは在宅で寝たきり状態にあり歯科医院通院が困難な方で介護認定を受けておられる方です。

※ 医療保険、および介護保険の一部負担金が必要です。

お問い合わせ・お申込みは
神戸市歯科医師会歯科保健推進室 TEL 391-8020 FAX 391-6480

神戸市保健福祉局 ・ 公益社団法人 神戸市歯科医師会

★次回は、東灘区薬剤師会と兵庫県栄養士会にバトンタッチです。



研修会報告



3月4日開催 <Zoom オンライン研修> 2020年度 第1回 東灘区事例検討会

「認知症や精神疾患を持つ方をチームで支えるために」

(参加者：23名)

「判断能力が低下している方の意向をどこまで尊重すればいいのかを事例を通して学ぶ」をテーマに、関西国際大学 学長補佐 教育福祉学科長 准教授 山本 秀樹先生を講師としてお迎えし、神戸老人ホーム（統括所長）伊賀 浩樹氏からの事例で、初めてZOOMでの事例検討会を行いました。

「妄想があり、本人が家族支援を拒否しチームで支援体制ができなかった事例」は、転倒を繰り返し自分で座ることもできない状況でも自宅で過ごしたいという本人の思いにどこまで答えられるのか、本人が家族支援を望まない（キーパーソン不在）中で支える医療介護側の連携についてなど話し合いました。

<参加者からの意見一部>

- 在宅の限界はどこなのか見極めが必要で、生命や安全のリスクがラインとなる。
- 家に帰りたい→家で何をしたいのかを具体的に知り、代替案などを検討する。
- 病気のコントロール→医療との連携

<講師からの講評>

意思決定への支援（意思形成→意思表示→意思実現に寄り添い、チームアプローチを行う）をするためには、様々な意思決定ガイドラインを参考にし、根拠を持って行う（支援を組み立てた根拠を持つ）ことが大切であるとお話しいただきました。

4月28日開催 <ZOOMと会場参加のハイブリッド型> 新型コロナウイルス感染症研修会 Part3

「新型コロナウイルス感染者・濃厚接触者の在宅療養者を支えるために」

～ 不安の軽減と具体的な多職種連携を考える ～ （参加者：ZOOM36名、会場11名）

「新型コロナウイルス感染症に対する不安を少しでも軽減する、在宅訪問時の感染予防対策が理解できる」ことを目標に、六甲アイランド甲南病院 感染管理認定看護師 窪田 順江氏と東神戸訪問看護ステーションあじさい 井上 久美子氏を講師に迎え、在宅訪問時の感染予防対策について、講義とガウンテクニクの実技を行いました。

- ① 手指消毒の重要性（利用者へのケアの前後、清潔操作の前、体液に触れたかもしれない後、利用者の周囲の物品に触れた後は必ず手指消毒を行う）
- ② 使った後の防護具を脱ぐときに注意（脱ぐときに汚染するリスクが高い）
- ③ 飛沫を浴びない工夫をする（正面に座らない、必要時はフェイスシールド着用など）
- ④ 換気をする
- ⑤ お互いがマスクをする（利用者さんでマスク着用ができない方にも密着した介護が必要な時だけでも、マスクや着用をお願いします。出来なければ、自分がフェイスシールド着用するなどの工夫）
- ⑥ 利用者・家族に事前に体調の変化を報告してもらえようように何度も伝えておくこと
- ⑦ 事業所内でのマニュアル作成は必須、徹底すること

参加者アンケートから・・・

- ・コロナウイルス感染症に対して防御策ができ、ただ恐怖だけのイメージが払拭された気がする。
- ・訪問看護さんがどのように対応されているのか、初めて聞くことばかりで、患者さん、家族への説明の重要性、訪問の工夫、スクリーニングシートの作成など、実際の現場対応を伺い、どれほど大変かと感じた。他の介護サービスが入らない中、訪問看護師さんだけが訪問してくださっている状況を少しでも改善できるよう、こちらでも研修会を行い、訪問してくれる訪問介護さんが増えるようにしていきたい。
- ・タイムリーな話が聞けた。
- ・会場参加で実際に教えてもらい、細かく具体的にわかったのが良かった。

会場にお越しいただいた方には、ガウンテクニクを実際に行ってもらい、その場で質疑応答もできましたが、ZOOMでご覧いただいた方々には、伝わりにくかったと思います。配信方法などスキルアップしてまいりますので、今後も研修会へのご参加をお待ちしております。



<次回研修会案内> 詳しくはホームページをご覧ください

令和3年度第1回 東灘区在宅医療塾 「事例から ACP を考えよう！」（ZOOM 研修会）

【日時】令和3年6月5日（土）14:00～15:30

- ① 訪問看護師とケアマネジャーより在宅での ACP で困った事例を検討
- ② 講演：「アドバンス・ケア・プランニング(ACP) ～これからの医療・ケアに関する話し合い～」

講師：甲南医療センター 緩和ケア内科 部長 山口 崇先生

相談について



- ・ 往診医の紹介
- ・ 介護事業所や訪問看護事業所などの紹介
- ・ 退院後の入所先や在宅療養についての相談
- ・ 制度（特に医療・介護・障害の制度が関連しているケースなど）について



こんなことで困っている、解決したけど今後も起こりそうな困りごとなど、なんでもご相談ください。必要であれば、関係先に繋ぐこともできます。また、行政に現状をお伝えすることもできます。誰かに伝えることで、気持ちが軽くなることもあります。遠慮せずにお電話、FAXください。すべてにお答えできるわけではありませんが、出来るだけ一緒に考えさせていただきます。

新型コロナに関する情報提供

現在、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が始まり、利用者の方から、色々なご質問があると思います。5月10日より、神戸市ではワクチン接種後の副反応についての相談窓口ができました。我慢できないほどの痛みや発熱が2日以上続く場合などで、かかりつけ医や接種を受けた医療機関に連絡が取れない場合にご相談ください。

★**新型コロナワクチン副反応医療相談窓口**・・・24時間（土・日・祝日含む）

TEL： 078-252-7155

対応言語： 8か国語（日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、タガログ語）日本語以外は三社通話での相互通訳

FAX： 078-570-5777（耳や言葉の不自由な方のご相談はこちらから）

★兵庫県では、**新型コロナウイルス感染症対策を進める介護サービス事業所・施設等への支援内容一覧**
[支援施策一覧 20210526 \(hyogo.lg.jp\)](https://www.hyogo.lg.jp)をホームページ上に載せています（5/26現在）。

★日々情報は更新されます。新しい情報は、神戸市や兵庫県のホームページで必ずご確認ください。

ホームページご案内



神戸市各区のサポートセンターの活動、研修会の案内や報告などをホームページで紹介しています。

ホームページアドレス <https://kobe-iks.net/>

サポートセンターから



東灘区のコロナ感染状況は厳しいものがあります。医療・介護・福祉従事者の皆様におかれましては、本当にご苦労の多いことと思います。感謝申し上げます。

「こどもの日」も「母の日」もなかなか家族にも会えない日々が続きますが、サポートセンターとしてできることは、情報収集と情報発信、そして皆様の連携を手助けすることだと考えています。いつでもご相談ください。



次回の東灘区サポセン通信は8月頃の発刊予定です。明るいニュースが伝えられるといいですね！

東灘区医療介護サポートセンター 長友 まゆみ・飯野 留美子

TEL：822-0171 開所時間：月～金 9：00～17：00（土日祝休）